

市長“おしゃべり” しませんか

市民の皆さんと市長が直接懇談するための新しい事業「市長と“おしゃべり”しませんか」がスタートしました。各区を回って開催している「タウントーク」とは別に、施設やイベントなどに市長が出掛け、気軽な「おしゃべり」を通して市政をより身近に感じていただくための催しです。

1月27日、東区の札幌市社会復帰センターで行われた第1回目の「おしゃべり」では、作業所で働く障がいのある方たちやそのご家族などが集まり、時には笑いを交えながら市長と語り合いました。

住み慣れた地域で、自立して暮らしたい!

社会復帰センターは、18歳以上の知的障がいのある方を対象に、木工芸やタオルの洗濯、しめ飾り制作などの作業を通じて、社会的な自立を目指す施設です。

市長はタオルをたたむ作業を体験したり、施設の利用者と直接あいさつを交わしたりしながら施設内を見学。その後、利用者と保護者・職員を交えて「おしゃべり」がスタートしました。

Q

しめ飾りを作る仕事をしています。もっと作業所で作っている作品を買ってもらえればいいと思います。そしてお給料が上がるといいなと思います。

A

「お給料を上げて!」というのはよく分かるけど、なかなか厳しい話です。まずは地域の中に働く場がある、仕事があるということが素晴らしいことですね。僕も以前、作業所で作ったしめ飾りを買ったことがありますよ。多くの人に知ってもらって、作品を買ってもらうことができたら、みんなで使えるお金を増やしていけるかもしれませんね。

Q

上田市長、仕事の上での失敗はありますか?

A

そりゃもう、たくさんありますよ!ただ、そこで逃げないで、人に迷惑を掛けないようにすることが大事ですね。そして何よりも失敗を隠さないこと。黙ってしようとか、ばれないようにしようと思わずに「ごめんなさい」って素直に謝ることが大切だと思います。

Q

好きな歌手はいますか。

A

もりやまりょうこ 森山良子さんや、なかしま なかしま みゆきさんが好きですね。氷川きよしさん?もちろん知ってますよ(歌う)。昔から音楽は大好きです。今日、歓迎に演奏してくれた和太鼓も素晴らしいかったです!今度教えてください。